

こうさい通信

NO. 77 平成26年10月

発行 社会福祉法人 東京弘済園
特別養護老人ホーム

弘 済 園

〒181-0013
東京都三鷹市下連雀 5-2-5
0422-47-8965

FAX 0422-41-1783
tokuyou_2f@kosaien.or.jp
<http://www.kosaien.or.jp/>

花火大会開催



日が沈みはじめ、秋の虫が鳴きはじめるころ東京弘済園の園庭に「今年はどうだろうな」「少し寒いかな」とがやがや。期待と興奮の入り混じった弘済園、弘陽園、弘寿園の利用者の皆様が徐々に集まり始めてきました。平成26年9月3日少し肌寒い気温でしたが毎年恒例になった花火大会が開催されました。風もなく天候にも恵まれ絶好の花火日和の日に、今年も皆様の期待に応えようと、例年以上に花火の量や質を上げて準備をしました。田中園長の開会のあいさつの後、先ほどまでざわざわしていた皆様が静まりかえったその時「ヒュー～」「ドーン」と大きな音と共に夜空にきれいな色の花火が打ち上げられました。皆様もそれを見て「おー」「たまやー」「かぎやー」と花火が上がるたびに歓声を上げています。暗闇でも分かるほど皆様がキラキラした目で花火を鑑賞されていました。さまざまな色とりどりの花火が上がった後少しの間を置いて、皆さんお待ちかねのナイアガラ花火（写真）が点火されました。弘済園の花火大会は毎年ナイアガラで締めくくっていますが、完璧に火がついたことがなく、担当者が毎年工夫を続けてきました。今年はこれまでの試行錯誤が実り、今までで一番完成度の高いナイアガラ花火を見ていただく事が出来ました。一斉に眼前に広がる黄金色のカーテンを目にして今年一番の歓声が上がりました。閉会のあいさつの後、興奮の余韻を残しつつ皆さん各々の施設に帰られました。

後日、利用者の方や、近所の方から「今回の花火は良かったね」「職員（花火師）に感謝」との言葉をいただき、来年も、より盛大に花火大会をやるぞと意欲がわきあがってきました。

お知らせ

ホームページリニューアルしました。
より見やすくなっていますので、ぜひ1度ご覧になってください。

tokuyou_2f@kosaien.or.jp
<http://www.kosaien.or.jp/>

災害時・停電時について

9月1日の防災の日は過ぎましたが、もしもの時の為に日頃の備えが大事になります。今回は弘済園の日頃の備えについてご紹介します。

災害時について

(1) 火災時

火災発生時には自動で非常放送が流れる他、勤務職員が消火器による初期消火を行います。弘済園には、スプリンクラー、屋内消火栓、排煙ダンパー等の防火設備が設置されている他、火災感知器が作動すると同時に、自動で消防署に通報され消防車が到着します。

(2) 震災時（初動30分程度）

利用者の身の安全を確保し、ケガや被害状況の確認と必要があれば避難を行います。震度5強以上の地震時は、弘済園に限らず近隣の職員が駆けつけます。水道が断水した場合に備えて飲料水や生活用水を確保します。

○備蓄品、飲料水、食事（3日以上）、オムツ類、使い捨てのおしぼり（洗身・洗顔用、オムツ交換用）、使い捨て手袋、その他日用品など

停電時について

停電時は自動的に非常照明に切り替わりますが、バッテリーが数十分で切れてしまうため、継続的に電力や明かりを確保できるように、下記の物品を準備しています。

○ 非常用の発電機

医療器具の使用、ナースコール、ギャジベッドが使用できるよう発電機を用意し最低限の電力を確保します。発電機の使用方法については全職員が研修を受け使用できるようにしています。

○ 常用のライト等

共用部、各居室に配置できる数のランタンや照明器具の他、職員用のヘッドライトや懐中電灯も、各階に準備しています。

訓練

毎月、色々な状況（夜間、震災、火災）を想定し、利用者の皆様にも協力して頂き実施しています。

今年の夏も雷の影響で夜間に大規模な停電が起きた際にも、この備えのお蔭で無事に乗り切ることが出来ました。日頃の備えが大事だと痛感しました。利用者の皆様の安全を確保するため、これからも油断することなく、もしもの時の為に準備をしていきます。



牟礼西神輿巡行

今年も牟礼西の神輿が東京弘済園に来てくれました。

やはり日本人はお祭り・神輿と聞くと元気が出るようで、手拍子をしながら「わっしょい！ わっしょい！」と元気に声を合わせ神輿が練り歩くのをご覧になっていました。

また、神輿に触ると長生きできると聞き、皆さん、神輿に触りながら写真撮影をして、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

平成26年度敬老祝賀対象者

平成26年9月15日時点での満年齢です。

長寿

森田 ミツ様(104歳)
佐藤 イト様(103歳)
大原 フミ様(103歳)
瀬島 ます様(101歳)
福島 泰子様(101歳)
萩谷 みつ様(100歳)

104歳なんて、
たいした事じゃないよ(笑)
3階 森田ミツ様

長生きの秘訣は特にありません(笑)
皆がなかなか出来ない事を
やっているから、嬉しいです。
3階 佐藤イト様

102歳になって
びっくり!!
3階 瀬島ます様

お祝いの言葉に
ありがとうございますと返答してくださる
4階 福島泰子様

元気になって、
阿佐ヶ谷に行きたい!
4階 大原フミ様

美味しい物が食べたい、
マグロの握りが食べたい!
4階 萩谷みつ様

白寿

阿久津 峰子様
陶山 きの様
藤沢 コト子様

お祝いの言葉に、
目を大きく開きビックリされた
様子でしたが、笑顔で
会釈されていました。
2階 阿久津 峰子様

100歳を過ぎても、
お手伝い出来るように頑張り
たい。
4階 陶山きの様

米寿

安達 富子様
福田 富士子様
倉林 婦志子様

釜石に帰りたい。
4階 藤沢コト子様

孫に会いたい。
という問いかけにうなずかれました。
4階 福田 富士子様

ありがとうございます。
もうそんな歳になるの!?
嘘でしょう、信じられないわー!
2階 安達富子様

喜寿

仲本 圭子様
海野 寿美子様

お祝いの言葉に、
ニコッと良い笑顔をして
下さいました。
3階 海野寿美子様

今後も元気に
美味しい物が食べたい!
4階 倉林婦志子様

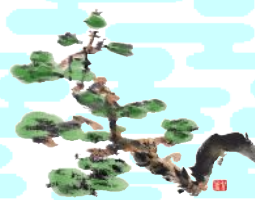
お祝いの言葉に、
笑顔で手を上げられ
喜ばれていました。
2階 仲本圭子様



おめでとうございます



敬老作品



2階 笑顔の輪



吉田敏子様 長寿の祝い



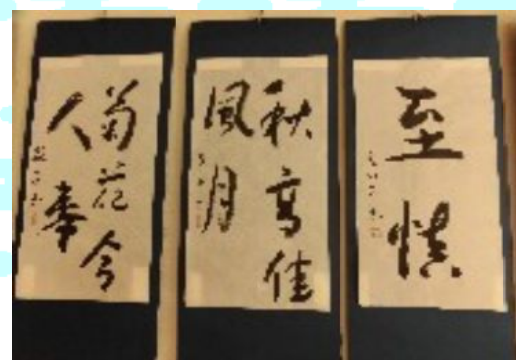
3階 お花畑



4階
十五夜お月さん



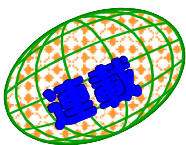
伊藤米子様
お花のタペストリー



書道クラブの皆様

生活写真館





インフルエンザ予防ワクチン

□ 今年もまたインフルエンザ流行の時期を迎えます

エネルギー大量消費による地球温暖化の影響なのでしょうが、今年も大雨・大洪水、山崩れ・地すべり、大型台風、御嶽山の噴火など、恐ろしい自然災害が日本各地を襲い多数の尊い人命が失われました。安全とされている東京もいつどのような災害に見舞われるか分かりません。

高齢者介護施設の入所者は、みなさん様々な持病を抱えており、病気に対する免疫力（抵抗力）も衰えています。また一か所にまとまって暮らしているので、感染症の場合はあっという間に集団発生してしまいます。高齢者介護施設で特に問題となる病気としては、インフルエンザ、感染性胃腸炎（ノロウイルス感染）、熱中症などが挙げられ、東京弘済園でも長年に亘って予防対策に努めてまいりました。

この夏も連日うだるような猛暑が続き、東京弘済園でも熱中症対策に追われましたが、幸いにも大事なく無事に乗り越えることができました。ほっとしたのも束の間、間もなくインフルエンザ流行の時期を迎えます。

□ ワクチンの予防接種

今のところ強毒性インフルエンザ流行の話もなく穏やかな雰囲気ではありますが、持病が多く免疫力も劣る老人ではインフルエンザは致死性肺炎の原因となりますので、集団発生が起こり易い介護施設では特に厳重な予防対策が必要となります。

ワクチン接種は、手洗い・うがい・マスクと並んで大事な感染予防の一つとなっています。

今年のワクチンは、昨年と同様、A香港型、B型、2009年流行A型（いわゆるブタフル）の3種類のウイルスに対する混合ワクチンです。1回の接種（皮下注射）で十分です。東京弘済園では10月15日から入居者ならびに職員への予防接種を開始致しました。

もっとも心配なのはA香港型です。この季節型は感染力は弱いものの症状は重く病原性も高いので、持病があり免疫力の衰えた老人では重症化する危険性が高くなります。インフルエンザによる重症化や死亡の死因はウイルスそのものではなく、併発して起きる肺炎、特に肺炎球菌による肺炎です。

□ ワクチン接種だけでは万全ではありません

インフルエンザ予防の第一は、ワクチン接種を受けることです。感染の危険性を少なくすると共に、たとえ罹っても軽く済みます。ワクチン接種してから3週間ほどで免疫力は最大となり、3～4か月は有効です。しかし、ワクチンは万能ではなく、次のような日常生活での注意も必要です。

感染防止のため、マスク・うがい・手洗いを行なうこと：インフルエンザは、咳、クシャミ、唾液の中に含まれているウイルスが鼻腔や咽頭へ吸い込まれる事で感染します。

ほとんどが飛沫感染です。人混みを避ける、外出を控える、外出時はマスクを着用する、帰宅したら手洗い・うがいを励行するなどが大切です。利用者を守るため、咳やクシャミがある時は施設への訪問はご遠慮ください。

インフルエンザに罹ったかなと思ったら直ぐに病院を受診すること：突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの症状が出たら、すぐに病院受診し、インフルエンザの検査を受けて下さい。インフルエンザであればタミフル、リレンザなどの特効薬治療を受けてください。早く治療を始めれば、1～2日で症状は軽快し治まります。（症状が治っても最低5日間は外出を避ける）

普段より栄養、休養、睡眠、衛生などに配慮すること：インフルエンザそのものは、病原性の高い特殊型を除けば、自然に治癒するので心配は無用です。体力、免疫力が低下している時が肺炎などを併発して危険なのです。日頃から栄養、休養、睡眠、衛生など配慮して生活しましょう。

平成26年8月～9月

寄 付	今津敏雄様	竹田ほつえ様	萩原孝子様
寄 贈	今津敏雄様	井上みち子様	大野美幸様
	小澤三枝子様	菊池安子様	(有)瑞光園様
	中島敏裕様	萩原孝子様	林綾子様
	堀江道子様	和田裕子様	(50音順)

編集後記

ようやく秋らしい季節となりまして、過ごしやすくなりましたが、私は気温の違いに体がついていけていません。これから厳しい冬が待っているの、利用者の方共々風邪防止の為に体調管理を行い気を付けて努めていきたいと思っています。

新井(記)